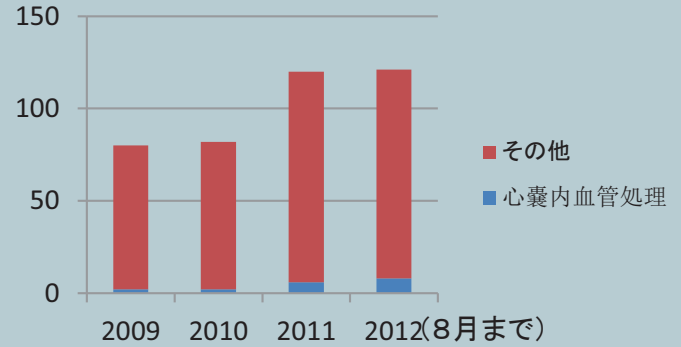


「心嚢内血管処理を必要とした肺癌症例」

★心嚢内血管処理が必要とされる状況

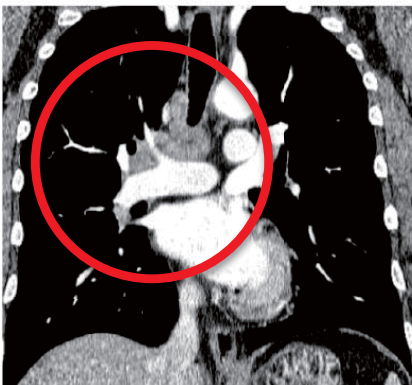
- ①肺門（肺動脈や肺静脈等）への到達困難な場合
 - ・肺門に迫る大きな腫瘍
 - ・肺門部への腫瘍浸潤
 - ・高度癒着がある場合
- ②中枢に近い部位での出血に対する止血操作（心嚢内での肺動脈や肺静脈の確保が必要）

※当科では直近の20ヶ月で12例の心嚢内血管処理を要する症例経験しました。



★当科における原発性肺癌症例数
症例数の増加に伴い、心嚢内血管処理を必要とされる症例も増加傾向であります。
(拡大手術も積極的に行っております)

症例 1



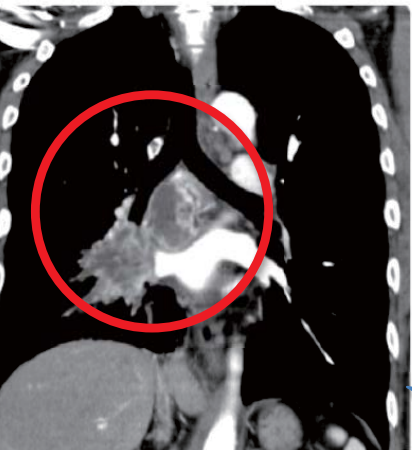
50代 男性
右肺癌 (p-T1bN2M0 stage IIIA adenocarcinoma)

治療 (放射線化学療法を先行し手術を施行しました)

- ①放射線化学療法
(放射線 50Gy + Weekly カルボプラチン/パクリタキセル 5クール)
- ②手術
右肺上葉切除 + 肺動脈形成 + 気管支形成 (楔状)
+ 上大静脈合併部分切除 + リンパ節郭清

右肺動脈の根部まで腫瘍が近接していましたので、心嚢内で上大静脈をテーピングし、その背部の肺動脈根部を確保し手術を遂行！！

症例 2



50代 男性
右肺癌 (p-T1bN2M0 stage IIIA Squamous cell carcinoma)

治療 (放射線化学療法を先行し手術を施行しました)

- ①放射線化学療法
(放射線 50Gy + Weekly カルボプラチン/パクリタキセル 5クール)
- ②手術
右肺中下葉切除 + 心膜合併切除 + 左心房合併切除

右下肺静脈根部まで腫瘍浸潤があり、左心房合併切除を施行！！
※放射線化学療法を含め集学的治療により完全切除しました！

症例 3



60代 女性

左肺癌（ p-T3N0M0 stageIB 腺癌 ）

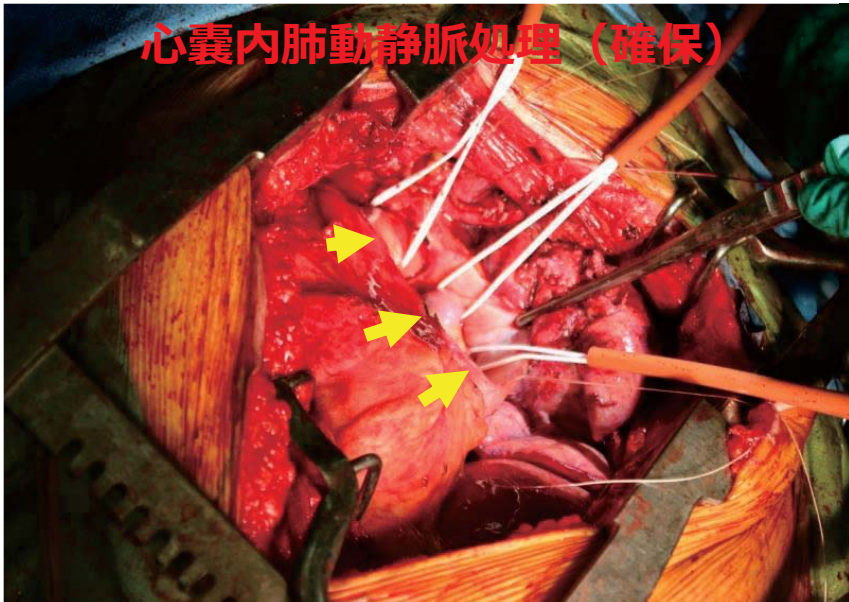
既往： 3年前に左上区切除（ 腺癌 stageIA ）

治療

手術： 左残存肺全摘術

左肺上区域切除後で残存肺中枢側に発生した肺癌で残存肺全摘術を予定した。左胸腔内は全面癒着であり心嚢内で血管確保が必要と判断。

心嚢内肺動静脈処理（確保）



心嚢を切開し、肺動脈本幹、上下肺静脈を確保した。



当科では、進行肺癌や一度手術した既往がある症例でも、集学的治療を行い根治手術を行っております。

進行肺癌であっても、あきらめず、ご一報ください！！

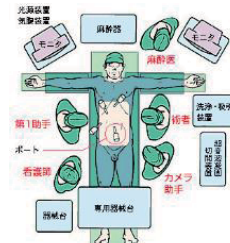
あきらめないで！！

上海VATSツアー報告

7/13-15に上海にあるCOVIDIEN clinical instituteにてwet ラボを行い、若手Dr.を中心に手術の研鑽を積みました！

現在の当科の手術体制は講師以上のsupervisor、助教を中心とする主治医、専門修練医による担当医の3人体制で1手術を行っています。

担当医である専門修練医が病棟で果たす役割は大きいですが、手術においてはScopist(カメラ助手)と呼ばれる胸腔鏡操作に徹することが多いのが現状です。そのため、当科では少しでも手術修練を積むため、毎週、専門修練医のための臨床講義及び手術手技ビデオカンファレンスを行っています。

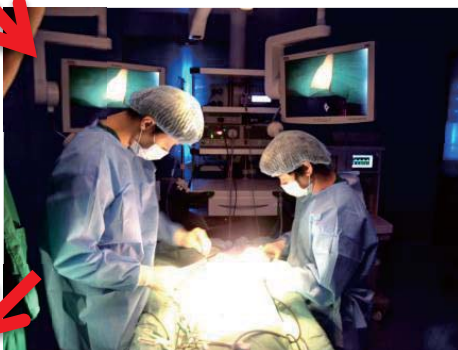


今回、手術手技実践として人間の解剖に近似した犬を用いて完全胸腔鏡下肺葉切除を行いました。



解剖及び手術手技についてのカンファレンス

3年目松本Dr.(術者)と、同じく3年目名部Dr.(第一助手)による胸腔鏡下左上葉切除術start!!



どの組も無事に手術終了。若手は5分で昼食を終え、手術に戻り、非常に有意義な時間を過ごせました。



田中先生と宗先生が第2、3助手のもと3年目の平良先生(術者)と5年目の桑田先生(第1助手)による胸腔鏡下手術



こちらは花桐先生が第2助手のもと3年目の門司先生(術者)と4年目の篠原先生(第1助手)による胸腔鏡下手術



最後は皆で集合。日本では経験できない時間でした。

順天堂大学呼吸器外科教授鈴木健司先生と当科で手術手技検討会を行いました！

施設間での治療方針や手術手技について熱くディスカッションしました。鈴木先生は積極的な外科治療を行い、拡大手術の経験も非常に豊富です。座右の銘は『五省』だそうです。

順天堂大学呼吸器外科 鈴木健司教授



- 1990年 防衛医科大学卒業
- 1990年 医師国家試験合格
- 1991年 防衛医科大学臨床研修医
- 1993年 US navy 潜水医学課程修了
- 1995年 国立がんセンター東病院 非常勤医師
- 1997年 国立がんセンター東病院 がん専門修練医
- 1999年 国立がんセンター中央病院 呼吸器外科医員
- 2007年 国立がんセンター中央病院 呼吸器外科医長
- 2008年 順天堂大学医学部呼吸器外科教授



下段中央が鈴木先生

今後も知識・技術をより多く身に付け、より高い水準の治療を目指したいと思います。

当科外来表

産業医科大学病院



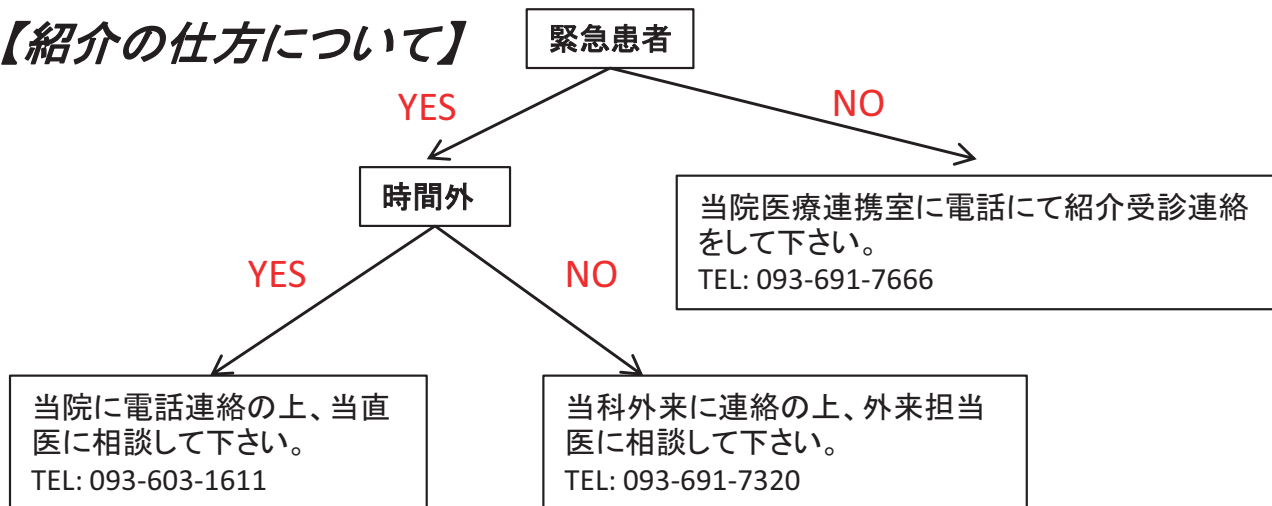
専門分野等	火		木		<ul style="list-style-type: none"> ■ 直通093-691-7320 ■ 内線3211 ■ 診療科長：田中文啓 ■ 副診療科長：花桐武志 ■ 外来医長：宗知子 ■ 病棟医長：宗知子 ■ 医局長：浦本秀隆
	午前	午後	午前	午後	
紹介、初診、再診	紹介、初診、再診	再診(予約)	紹介、初診、再診	再診(予約)	
気管、肺、縦隔	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 中川誠 岡壮一 竹中賢	下川秀彦	田中文啓 花桐武志 宗知子 浦本秀隆 岩田輝男 下川秀彦 岡壮一	宗知子	
体表、一般	花桐武志 岡壮一	下川秀彦	花桐武志 下川秀彦 岡壮一		
乳腺、胸壁	花桐武志 永田好香	永田好香	花桐武志 下川秀彦 永田好香		

産業医科大学若松病院



専門分野等	火		木		<ul style="list-style-type: none"> ■ 代表093-761-0090 ■ 内線6050 ■ 外来医長：岩田輝男
	午前	午後	午前	午後	
紹介、初診、再診(予約)	紹介、初診、再診(予約)	再診(予約)	紹介、初診、再診(予約)	再診(予約)	
気管肺縦隔	岩田輝男	近石泰弘	竹中賢	下川秀彦	
乳腺胸壁	岩田輝男	近石泰弘	竹中賢	下川秀彦	

【紹介の仕方について】



【当科医局員外来派遣病院】

※呼吸器・胸部疾患において、下記病院外来でも当科医局員が外来紹介患者対応をさせていただきます。

産業医科大学若松病院、済生会八幡総合病院、正和並木病院、正和中央病院、新中間病院、
牧山中央病院、大平メディカルケア病院、西尾病院、浜崎病院、あさひ松本病院、中井病院、八幡慈恵病院

産業医科大学第2外科 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL (093) 603-1611 / FAX (093) 692-4004 E-mail : j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
HP : <http://www.kitakyusyu-gan.jp/>